

京都支部

国際交流基金発足と同時にその支部として開設された。以来32年にわたって、関西地区の関連団体とのネットワークの構築に取り組む一方、国際交流基金フェロシップによる長期招へい者のうち関西に滞在する者に対するオリエンテーションの実施および各種便宜供与、短期招へい文化人のアポイント取り付けなど本部事業への支援を行なうとともに、さまざまな自主事業を行なっている。また、本部の公募事業に対する申請の取次ぎ、さまざまな問い合わせに対する対応、本部への情報提供の活動も行なっている。

関西地方での国際交流事業は近年になって盛んになってきており、また各国際交流活動団体のネットワーク化が急速に進みつつあることから、当支部としては今後一層関西地方において外部の諸団体と連携を深めることとする。また図書室をベースに国際文化交流情報を提供する。

<2003年事業例>

●「国際交流の夕べ：能と狂言の会」(2003年11月6日、京都観世会館)

1973年から恒例の催しで、京都の秋に行なわれる年中行事の一つとして定着した観がある。88年から京都新聞社との共催事業であり、97年から国際交流基金関西国際センターも共催に加わった。近畿地域在住外国人、国際交流関係者および関西国際センターの研修生を招待して、日本の伝統芸能を鑑賞する機会を提供した。

2003年度演目

能：「小鍛冶」金剛流 金剛永謹

狂言：「棒縛り」大蔵流 茂山千之丞

●「平成15年度エッセイコンテスト<私の見た日本>」(2003年10月5日、京大会館)

海外から日本を訪れる人々と日本との交流活動の一環として、日本文化の一分野を専門的に考察したエッセイを英語と日本語で募集し、コンテストを行なった。参加者は60名にもおよび日本の文化、日本人の生活を新鮮な視点で表現した作品が多かった。

●UKフィルム“Dream Girls”上映会およびセミナー(2003年8月1日、ブリテッシュ・カウンシル京都・基金京都支部講堂)

UKフィルム“Dream Girls”を基金京都支部で上映した後、ブリテッシュ・カウンシル京都で池内靖子氏(立命館大学産業社会学部教授)にジェンダー等のさまざまな視点から上映作品について語って頂き、聴講者との座談会を行なった(参加人数は53人、セミナーおよび座談会32人)。普段は鑑賞することのできない女性監督による宝塚歌劇団を主題としたドキュメンタリー映画作品は好評を得た。



能と狂言の会



UKフィルム“Dream Girls”上映会およびセミナー